

事業計画書

事業名	紙敷石みやの森 保全育成事業
団体名	松戸里やま応援団「七喜の会」

★貴団体が申請する事業について、お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

【課題】

古来、人間の生活圏には樹林と田畑を中心とした里山があり農業や林業により食と住居、薪の採取など密接な関わりを持ってきた。現在これらの貴重な樹林が地域から減少している。
保全育成により衰退を食い止める必要がある。

【現状】

- a. 松戸市は北総台地の中にあり豊かな緑に溢れていたが、1988年35.6%だった緑被率も2005年には30.6%と減少してきた。(緑被率=樹木・草花・水・土・空など広義の概念)
- b. 市も緑の基本計画を策定して緑被率減少に歯止めをかけるべく様々な取り組みをしている。
- c. 私たち七喜の会は、里やま応援団7期生として多くの先輩応援団の指導の下に「紙敷石みやの森」を拠点に保全活動を推進している。
- d. この森は紙敷2丁目に位置し北総鉄道沿いにある。市立松戸高校、日本園芸生産研究所、県水道局給水場、八柱霊園などに隣接し有料老人ホーム、テニスコート、少年野球グラウンド、新興住宅やマンションなど幼若壮者の世代が集まる市街地の中にある。
- e. 森の面積は約1ha(1万㎡)あり、往時この一帯が馬の放牧場であったことを伺わせる野馬土手が築かれ、全体が起伏に富み低地では水田跡地と思わせる場所もある。また会名称の由来となった延宝四年(1676年)建立の石の祠が中央に祭られこの森が永く生活を支えてきた貴重なものであることが推察できる。
- f. 近年は手入れも行き届かず、樹林内には枯死木や折損木、倒木が放置され中低木の枝が繁って陽差しを遮り森の自然再生を妨げている。
- g. 周囲には市道があり市民の散歩道にもなっているが、荒れた森特有の問題としてゴミの不法投棄(有害物質などによる地中汚染も心配)や無断立ち入り、伐採など犯罪の温床化を招くものと市民の人達の悩みになっている。

【背景】

- a. 高度経済成長と共に都市化が進み樹林や田畑が宅地や工場用地に変わってきた。
- b. 少子化と高齢化及び社会生活の変化に伴い、森が生活に直接果たす役割が後退し合わせて資産価値の低下と樹林地主の後裔者不足がある。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

- a. この森の周辺も宅地化が進み緑のエリアは年々狭まっている。前述の様に周囲を取り囲む学校や霊園、園芸生産研究所、水道給水場などは「緑の環境と非宅地地区」を条件に設置されたと考えられる。
- b. 鉄道の開通、駅の設置により住環境が整ったこの地域の中であって、この森は近隣市民の健康

と癒しをもたらす貴重な市民共有の財産として活用されるべきと考えている。

- c. 日本の里山の原風景をイメージしながら、持ち出さず持ち込まずの基本理念のもとに草花や水溜りに生きる昆虫、ウサギやリスが巣営し、栗や椎の実が茂り、椎茸が生える森に再生して幼児を抱えたお母さん、少青年、働きざかりのお父さん、車椅子のお年寄りなど幅広い年齢層が安心して憩い交流できる市民の森にしたい。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

【活動内容】

※平成23年後半から市民が利用できる様に整備と準備を進める。(段階的に開放していく)

森の保全活動は凡そ次の様な課題解決につながる。

- a. 適正な樹木の剪定伐採などにより、延び過ぎた枝葉による街路灯電線などへの接触、朽ちた樹木の折損による通行者への落下、落葉による住宅区域への散乱などを防止する。
- b. 有害ゴミ等の不法投棄による森や地質の汚染防止をはじめ、不審者の侵入による犯罪の温床化、火災など不測の災害防止を図る。
- c. 定例活動の実施
- ・毎月第一火曜日、第二木曜日、第三土曜日を定例活動日とし月三回実施する。また必要に応じて臨時活動日を設定する。
- d. 具体的活動
- ・22年度に策定する森の利用目的および目標林型に基づいた整備作業を実施する。
 - ・樹木の植生調査、草本調査、植生図の作成。小動物の生態調査観察などを行う。
 - ・枯れ死木、折損木、倒木などの整理、下枝処理、下草処理など。これらは全てバイオネットを設けて堆肥化、カブトムシやカミキリなどの昆虫孵化、家庭菜園などへ有機肥料として市民へ還元する。
 - ・投棄ゴミの回収、分別、市の回収車手配と運搬。投棄禁止の啓蒙掲字板を設置する。
 - ・会員の知識、技能のレベルアップを図るため技能講習会、観察会などに参加する。
 - ・保全活動を広く市民に知ってもらうために案内板を作成して森の入口に設置する。

・想定スケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・整備作業（枯死木、折損木、倒木、下草などの整理及び歩道整備） ・植生調査、植生図作成と補正、昆虫及び小動物観察調査とまとめ ・投棄ゴミ回収分別（6月） ・道工具収納庫の製作設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例活動日に実施（臨時あり） ・運用、作業、調査の担当班別に作業内容をスケジュール化。（紙敷石みやの森） ・他の里やま応援団活動エリア。
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・整備作業（枯死木、折損木、倒木、下草などの整理及び歩道整備） ・植生調査、植生図作成と補正、昆虫及び小動物観察調査とまとめ ・巣箱（フクロウ）の作成設置 ・作業道具取り扱い実技熟練化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例活動日に実施（臨時あり） ・チェーンソー、草刈り機などの電動工具の取り扱い講座参加。（代表参加）
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・整備作業（枯死木、折損木、倒木、下草などの整理及び歩道整備） ・植生調査、植生図作成と補正、昆虫及び小動物観察調査とまとめ ・投棄ゴミ回収分別（12月） ・案内標識作成設置（散策会準備） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例活動日に実施（臨時あり） ・里やま応援団、里山プロジェクト等が主催する講座へ参加。
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・整備作業（枯死木、折損木、倒木、下草などの整理及び歩道整備） ・植生調査、植生図作成と補正、昆虫及び小動物観察調査とまとめ ・春休み森の散策会（仮称）開催 老人ホーム、少年野球チーム、ご近所の方との交流。 ・知識技能のステップアップ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例活動日に実施（臨時あり） ・森の散策会開催のお知らせチラシ作成、松飛台駅などで地域住民へ配布し呼び掛け。 ・他の里やま応援団へ協力要請。

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください。

*活動目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

- 森の整備率を50%達成する。2年目（24年度）75%、3年目（25年度）100%
- 24年3月初めての市民参加イベント「春休み森の散策会」を開催する。
- 一緒に作業してくれるサポーターを一人でも増やし、自分たちの森としての保全活動の理解と協力を求める。（現在千葉大生が特別参加）
- そのため毎月3回（第一火曜日・第二木曜日・第四土曜日）の作業を定例実施し、活動の進捗状況（グラフ等で表示）、活動の実際（活動報告書など）を掲示板などで地域市民へ紹介する。
- 森周辺の美観整備とゴミゼロ活動を継続して行い、24年度「ゴミ投棄ゼロ」を達成する。

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。
- a. 「石みや様の森がある街・紙敷」をキャッチフレーズに、300年余の歴史的市民財産として保全するため、リーフレットなどで広報活動を行い地域市民の関心と理解を深める。
 - b. 助成金により一部の道工具および収納庫を購入の予定であるが、樹齢100年近い大木の整備は人の力では太刀打ち出来ない。倒木切削のチェーンソー、大木処理用ウィンチ、ロープ、掛矢、下草刈り機など逐次準備して本格的な活動を展開していく。(ヘルメット、鎌、鋸、鋏などは個人で購入)
 - c. 森を守るためには一定サイクルでの伐採、下草刈り、枝落としなどの手入れが必要。年間を通しての保全活動を行い、散策会や観察会の定例化を図る。
 - d. 動物や昆虫などの観察エリア及び傾斜の強い場所に手摺りや階段を取り付け市民利用の安全を図る。安心して散策できる森を保全活動の目標とし、将来は車椅子生活など弱者と言われる人の散策も可能な森に整備する。
 - e. 市の協働推進課、みどりと花の課や里やま応援団と協力して、次の世代へ引き継ぐサポーターを育てる。
 - f. 森の再生には永い時間を要する。また高枝の間伐、老化した大木の伐採作業など高い技能を要する。技能講習会への参加、先輩の里やま応援団等の指導支援を受け技能の熟練度を向上させる。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	前年度繰越金及び会費	24,002 円	前年度繰越金 7,002 円 年会費 1,000 円×17名=17,000 円
	自己資金合計 (a)	24,002 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a+b)	124,002 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
	作業用具費 等	61,000 円	剪定バサミ (大) 1 8,000 円 掛矢 (大) 1 4,100 円 鎌 3 7,500 円 スコップ (大) 1 5,000 円 用具収納庫 1 31,000 円 測量用具 1 5,400 円
散策会開催広報活動費 消耗品・事務用品費	55,000 円	イベント開催チラシ・ポスター等 製作及び飲料費 20,000 円 カーインク/用紙 等 20,000 円 テープ・紐他 文具費 5,000 円 活動案内掲示板製作 10,000 円	
	対象となる経費合計額 (d)	116,000 円	
その他	通信・会議・資料補助費	6,000 円	500 円/年×4名=2,000 円 (通信) 500 円/回×4回=2,000 円 (会議) 2000 円/年×1名=2,000 円 (資料)
	飲料水補助費他	2,002 円	
	その他経費合計額 (e)	8,002 円	
	事業費 (f) (d+e)	124,002 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にしてください。